



# 瓦版

平成二十六年  
四月廿七

## 桃屋



# 片岡愛之助 生七味売り役で

# CMに出演!

食べる  
生七味



うまい!

### 歌舞伎界初! 舞台とCMのコラボ!

# 舞う! 食べる! 愛之助大活躍!!

### 今度の舞台は CMだ!

寒波が猛威を振るう冬の東京。都内某スタジオにて、秘密裏にその撮影は敢行された。そう、片岡愛之助主演による、桃屋新商品のCM撮影である。歌舞伎の舞台上で活躍してきた愛之助。近年はテレビドラマにも進出し、いまやその顔を見ない日はない。監督は「辛そうで辛い少ない辛いラー油」はじめ、桃屋の広告制作でおなじみの前内道彦氏。ニューヨークの歌舞伎観劇経験もあり、演出にも並々ならぬ気合いの入りがうた。日本を代表する二つの才能がぶつかりあい、火花を散らす。他に類を見ない撮影の幕があがった。

### 食べる「生七味」

新商品の名は「さあさあ生七味とうがらし山椒はじりり結構なお味」。全二

### 拍手喝采! 驚嘆の演技

今回片岡愛之助が演じるのは「生七味売り」。外郎売(うらうり)から着想を得て、動きや台詞を構築。本場歌舞伎の職人達の協力により、

一夜限りの舞台が完成した。舞台上に姿を表した愛之助に、一同は息を飲む。爽やかな浅葱色の衣装に、鮮やかなとうがらし色の半纏。本人自らが引いた顔の隈取り。創作のキャラクターが現実世界に現れた瞬間であった。「よい!」監督の声がかかり、場の空気が張りつめる。愛之助の目の色が変わった。「さあ、さあ、さあ、山椒はじりりのお、生七味〜!」ポーズを決める勇壮な姿に、思わずスタジオ中の人間から拍手があがる。舞台ではない。広告の撮影である。しかし、誰もがこの場に立ち会えることになったのだ。



レシピは桃屋のホームページでチェックできる!



